

ポーランドにおける命の窓

自己紹介 ☺



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

カリタスとは愛という意味です

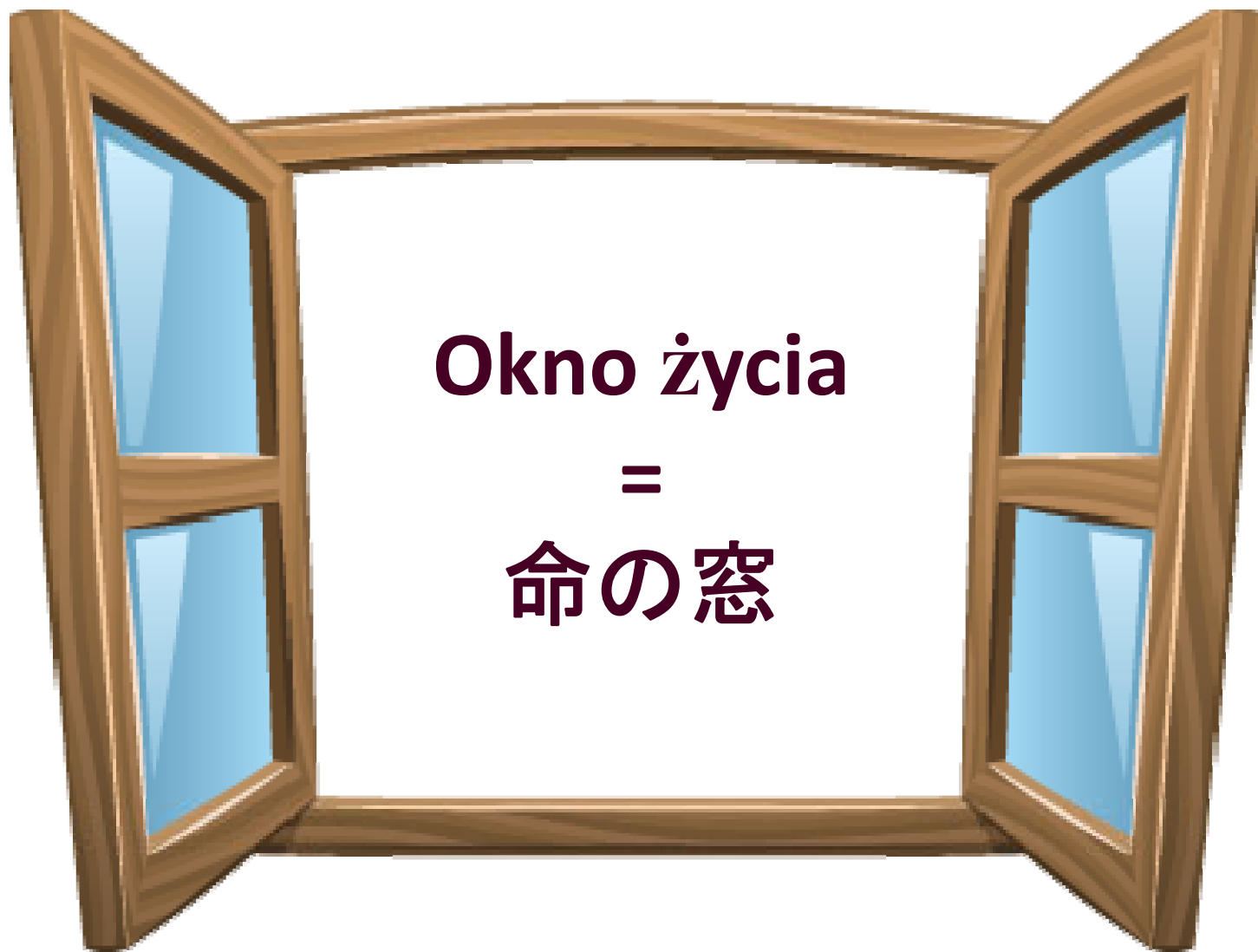




命の窓は、ポーランド**カリタス**の
傘下にあります



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける初めての
命の窓は
2006年3月19日にクラクフにできました。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける初の命の窓は

ポーランド人で、前年に亡くなった
ローマ法王ヨハネ・パウロ2世を讃え、
記念するものとして開かれました。

彼は偉大な命の守護者でした。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

なぜポーランドに命の窓が作られたのでしょうか？

- 命の窓は子供の命を救う
 - 命は最も価値あるもの
 - ゴミ捨て場ではなく安全な場所に
 - 母親／両親の匿名性
- 命の窓は人工中絶を防ぐ



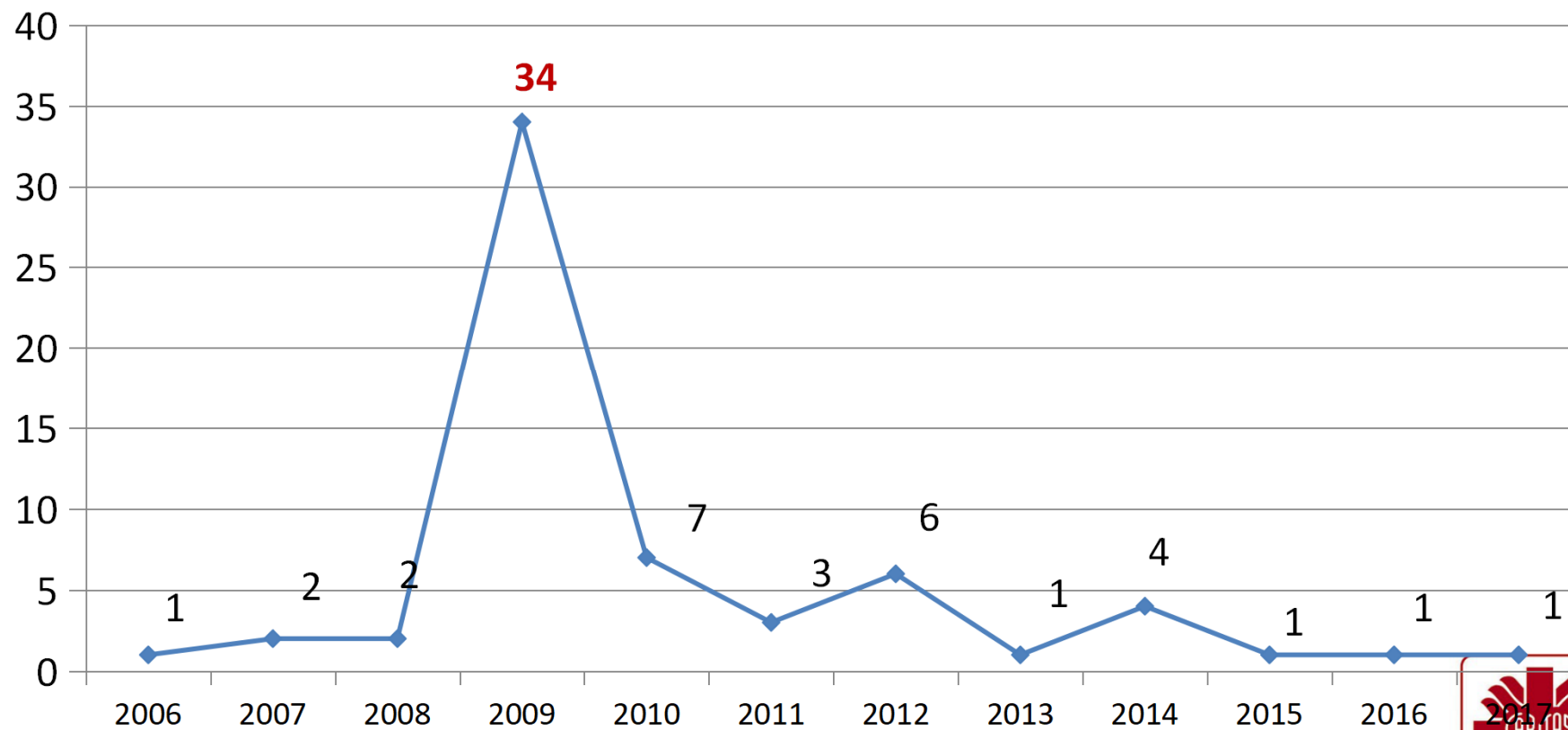
ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドには、55都市に60の 命の窓があります



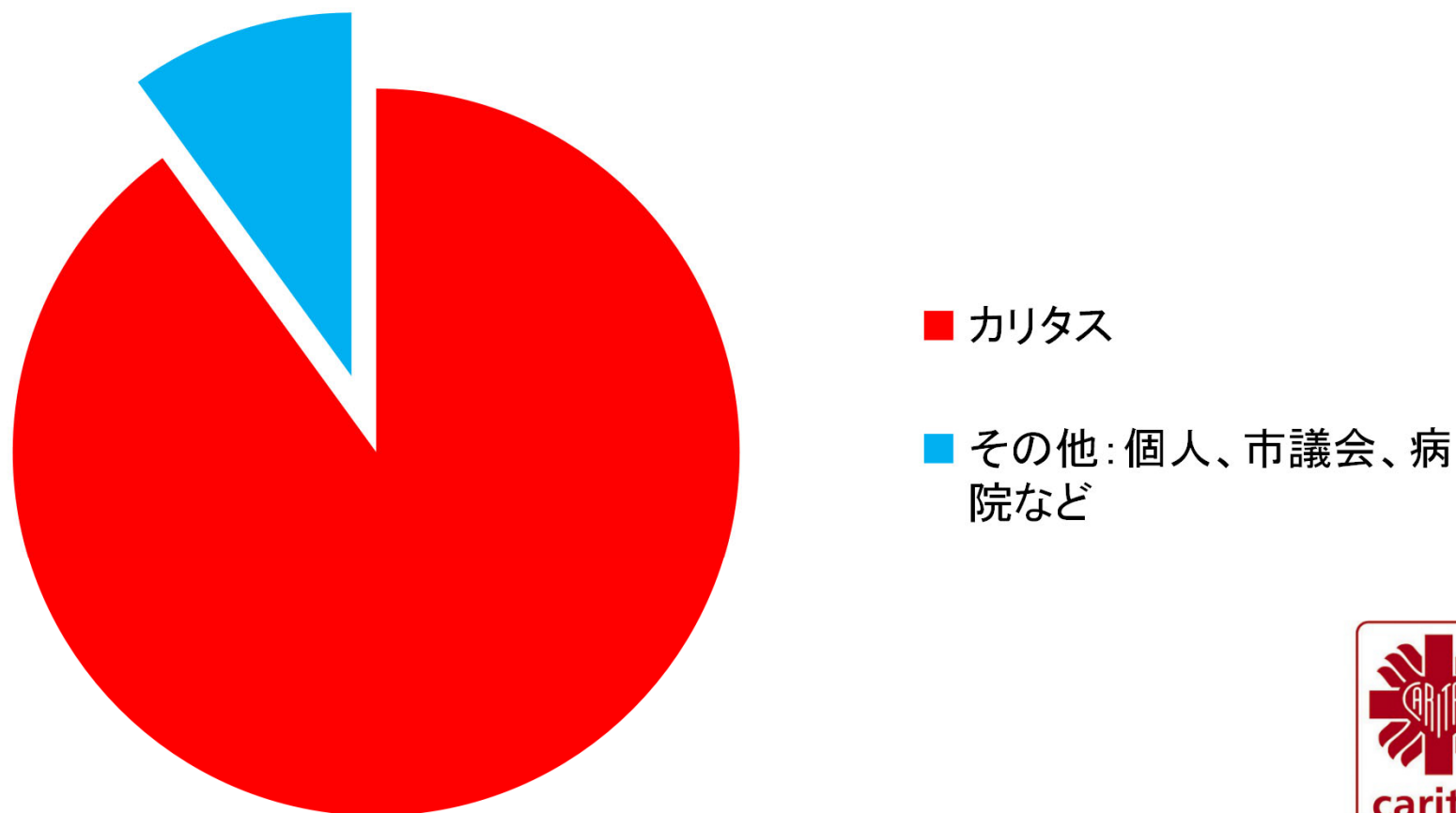
ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける命の窓 2006 - 2017



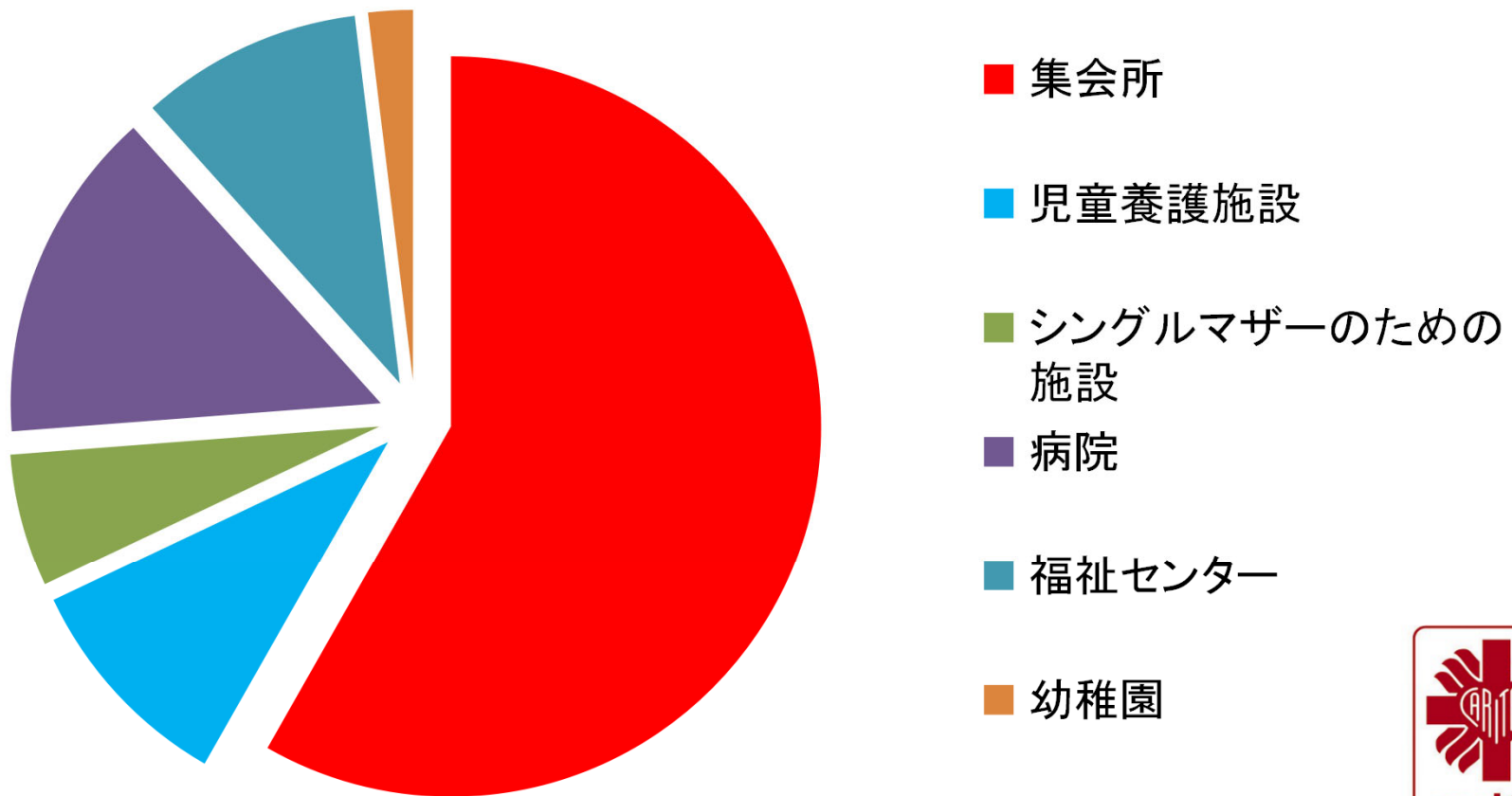
ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける命の窓 - どこが運営しているか？



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける命の窓 - どこに設置されているのか？



ARCHIDIECEZJA
ŁÓDZKIEJ

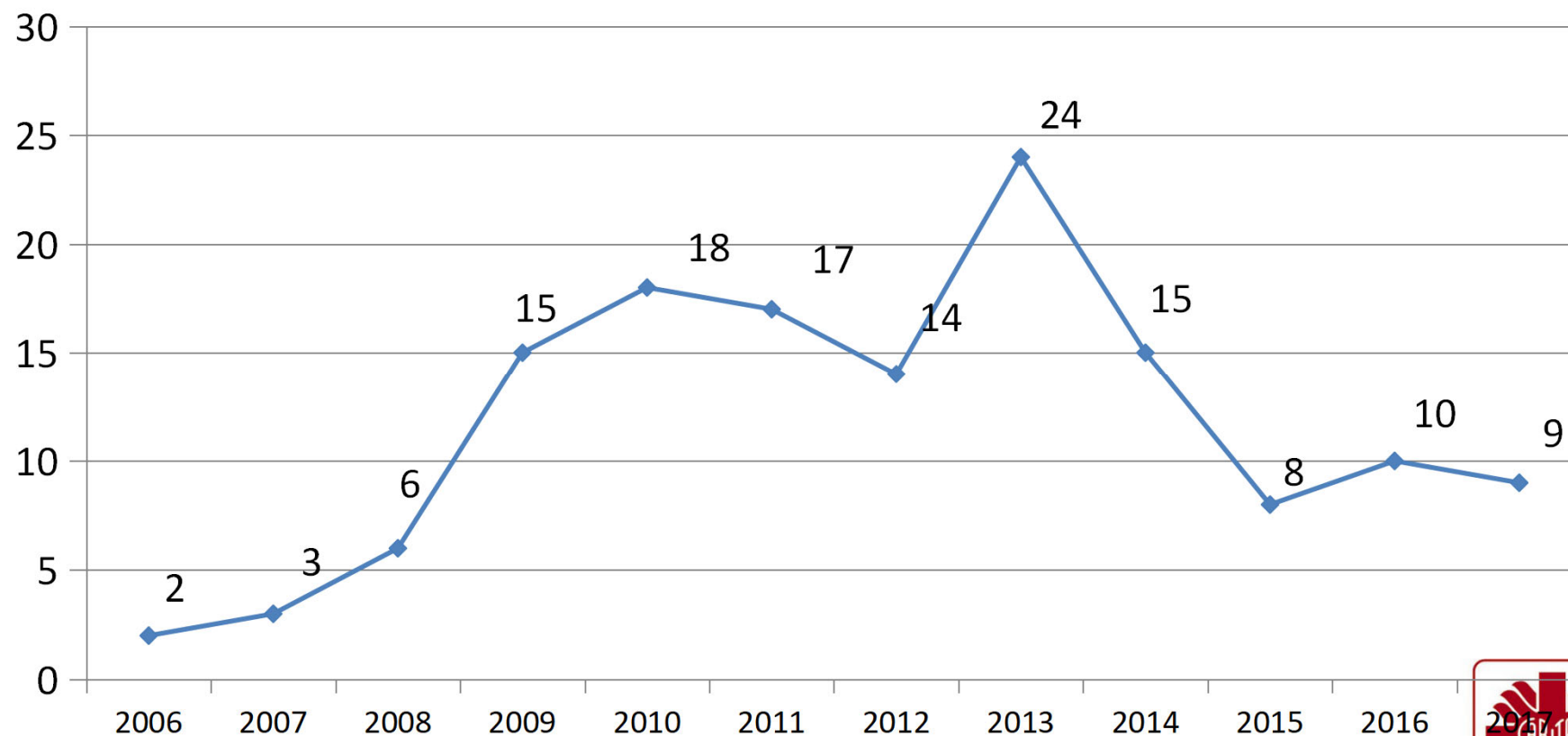
140人の子供が
2006－2017年に
ポーランドにおいて
命の窓に
預けられました

クラクフ－18
ワルシャワ－17
Łódź（ウッチ）大司教区－8



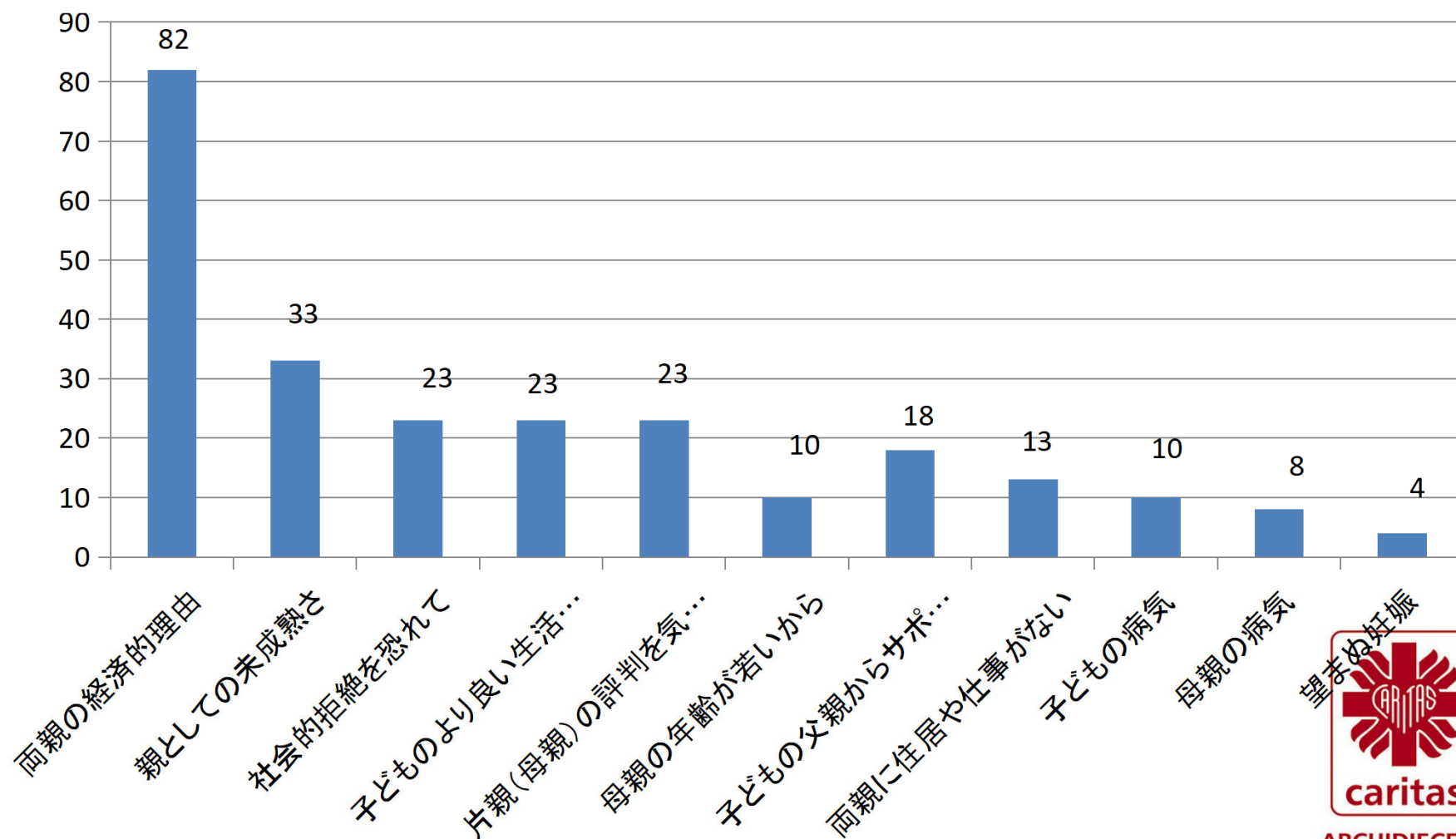
ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドの命の窓に預けられた子供 2006 - 2017



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドの命の窓に子供たちが預けられる理由は？ (複数回答)



ARCHIDIECEZJA
ŁÓDZKIEJ

命の窓における赤ちゃん - どのように機能するのか？

1. 窓が開けられると、ビル（施設または病院）内にアラームが鳴ります。また、電子システムがSMSを推奨の携帯電話番号に送ります。
2. 勤務中の人 が窓に1分以内に駆けつけ、赤ちゃんを赤ちゃん用の抱っこひも又はバスケットから取り出し、赤ちゃんの状態を確認して、救急車と警察を呼びます。
3. 救急車は赤ちゃんを病院へ連れて行きます。
4. 病院は、養子センターへ連絡します。
5. 養子センターは家庭裁判所へ連絡し、子供の後見人の指名と、子供の名前の決定をします。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

命の窓における赤ちゃん - どのように機能するのか？

6. 家庭裁判所は、子供の後見人を指名し、里親および子供の名前を決定します。この手順は素早く行われ一日か二日の場合もあります。
7. 養子センターは、養子先の家族を指名します。
8. 通常は養子縁組の手順は最大で2週間ほどです。
9. 命の窓に預けられる子供は普通1歳以下(ほとんどが新生児)で、養子先の家族を見つけるのは割と簡単です。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

我々の国の命の窓はこうなっています。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける児童保護システム (一部抜粋)

- ポーランドにおいては毎年38万人の赤ちゃんが生まれます。
- 1年間の中絶件数は1000件です。
- 毎年およそ10件の幼児殺害が起こっています。
- 年間の子供置き去り事件数は減少しています。
(およそ15件／年)



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける児童保護システム (一部抜粋)

- ポーランドには10万人の孤児がいます（ほとんどは社会的なもの）。
- 6万6千人が里親家族のもとにいます。
- 残りは、孤児院または家族孤児院にいます。

ポーランドにおける児童保護システム (一部抜粋)

- ポーランドにおいては、第2レベルの地方自治体行政が養子縁組に関して責任がありますが、400ある自治体のうち養子縁組センターがあるのは100の自治体のみです。
- 毎年3500人の子供が養子縁組を結びます。
- 平均的な養子縁組プロセスは2年間かかります。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける命の窓

- 問題点

- 命の窓に赤ちゃんを預けることができると親が知ると、子供を育てるという基本的義務を果たさない親の数が増加する可能性がある。
- 母子ともに危険な、孤立した出産を助長してしまう可能性がある。
- 子どもの出自を知る権利を侵害する...という人もいる。
- 預けた後、母親は自分の子供について確認することができず、また決定を変更することもできない。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける命の窓

-未来への希望

- 命の窓は子供の命を救うーこれはポーランドの多くの
人々の社会的意見です。
- 子どもの育児放棄や死を防ぐ現実的な方法です。
- 否定的なものよりも肯定的な意見が社会から寄せられて
います。
- メディアは命の窓に興味がありますー新しいものが設置
された時や、子供が預けられた時に。



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ポーランドにおける命の窓 - 必要なのでしょうか？

たった一つの命を救う者は、
世界を救う



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ

ご清聴ありがとうございました



ARCHIDIECEZJI
ŁÓDZKIEJ